

エクスカーション紹介文

関西合同三田会[奈良大会]のエクスカーション『まほろばソムリエと巡る晩秋の飛鳥路』で訪れる史跡・寺院をご紹介しますので、皆さま奮ってご参加下さい。

① 「キトラ古墳」

キトラ古墳は、藤原京の南に広がる古代の皇族・貴族などの墓域にある小円墳で、7世紀末～8世紀初頭頃に造られたと考えられており、墳丘の中央にある石室内には全面に漆喰が塗られ、四神（青龍・朱雀・白虎・玄武）や十二支、天文図などの極彩色壁画が描かれています。日本で四神の図像全てが揃う古墳壁画は、このキトラ古墳壁画のみです。

当日は、復元された墳丘と壁画体験館「四神の館」を見学して頂きます。

② 「橘寺」

橘寺は、聖徳太子生誕地と伝えられている橘の宮という欽明天皇の別宮に、推古天皇の命により建立された寺院で、聖徳太子建立7カ大寺の一つに数えられています。境内には、人の心の善悪二相を表したものと言われている飛鳥時代の石造物「二面石」や、大化改新で一畝という面積の基準となった「蓮華塚」などがあります。なお、地名である橘は、日本書紀に書かれている、垂仁天皇の時代に勅命を受けてトコヨの国(中国か)に不老長寿の薬を求めに行った田道間守の伝説によると伝えられています。

③ 「飛鳥寺」

飛鳥寺は、日本最初の本格的寺院で、創建時には塔を中心に東西と北にそれぞれ金堂を配し、その外側に回廊をめぐらし講堂を含む壮大な伽藍形式であったことが分かっています。本尊の飛鳥大仏(釈迦如来坐像)は日本最古の仏像で、平安・鎌倉時代に大火災で全身罹災し補修されていますが、現在まで造立当初と同じ位置に鎮座されています。なお、飛鳥大仏は珍しく写真撮影が可能ですので、当日は一緒に記念撮影されてはいかがでしょうか？

④ 「聖林寺」

聖林寺は、正確には飛鳥の地ではなく隣接する桜井市に在する寺院で、本尊は安産・子授けの祈願として有名です。ここには有名な国宝である十一面観音菩薩がまつられており、そのお姿は、均整のとれた仏身、豊満な顔立ち、量感のある上半身、優婉な纏衣の美しさ、微妙な変化をみせる指先等、ミロのヴィーナスとも比較される仏像彫刻の優作で、必見のものです。